

## 平成 30 年度神奈川県クラブ選手権実施要項

### 1. 名称

平成 30 年度神奈川県クラブ選手権大会

### 2. 主催／主管

神奈川県ラグビーフットボール協会／神奈川県ラグビーフットボール協会クラブ委員会

### 3. 日程

平成 30 年 4 月 1 日～7 月 15 日

### 4. 参加資格

- ① 平成 30 年 2 月 1 日現在、神奈川県ラグビーフットボール協会にチーム登録していること。
- ② 神奈川県協会規約に従い平成 29 年度神奈川県ラグビーフットボール協会年会費の納入を完了していること。
- ③ 各チームの良識ある代表者の下に速やかに平成 30 年度チーム登録、個人登録、年会費等を完了すること。但し、大会期間中の追加登録は JRFU サイト登録完了後認める。(尚、登録だけして登録費未納であれば大会には出場できない) また、大会期間中の数名の追加選手登録を除き 5 月 15 日までにチーム、個人登録を完了すること。
- ④ 代表者会議にて神奈川県クラブ選手権大会参加費の支払いを完了していること。
- ⑤ 新規加盟チームの参加については、大会開始までに理事会承認を終え、チーム番号を取得し、4 月以降チーム、選手登録、諸費用の支払いを完了すること。なお別途新規チーム資格に関する規定を順守すること。
- ⑥ 前年度のすべての公式大会で、棄権、不戦敗もしくは失格したチームは、原則として参加を認めない。但しクラブ委員会で協議し参加を認める場合もある。
- ⑦ 前年度および当年度に未登録の選手又は二重登録の選手を偽って出場させたチーム（および当該選手）も上記と同様、大会参加を認めない。
- ⑧ 大会リーグ別チーム編成
  - (1) トップクラブブロック  
神奈川県タマリバ、タイセイハウジーレッズ、湘南フジ、湘南プレイボーイズ、神奈川県ブルシャークス
  - (2) 1 部ブロック  
J-EAGLES、六郷クラブ、城南クラブ、松陽クラブ
  - (3) 2 部ブロック  
ブラックシーガルズ、藤沢ウエスト、大和クラブ、ブラックホース
  - (4) 3 部ブロック  
三善クラブ、玉川ジャンキーズ、ECリライト、凱旋クラブ
  - (5) エンジョイブロック  
A リーグ：川崎キッズヒーローズ、ユエグリ、豊福/バルバーリ、神奈川県不惑、相模原クラブ  
B リーグ：マンボーズ、小田原クラブ、ゼロクラブ、オールバックス

### 5. 選手資格

- ① 本大会の選手資格は、日本ラグビーフットボール協会「選手役員規定」およびその他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の規定に従う。
- ② 選手は満 18 歳以上の者とし高等学校在学中の者の参加は認めない。
- ③ 大会期間中の追加登録を認める。但し JRFU サイトの登録完了後とする。(但し、5 月 15 日までは見込みとする)
- ④ 選手が他のチームとの二重登録を行うこと、また未登録は認めない。
- ⑤ 財団法人スポーツ安全協会の「平成 30 年度スポーツ安全保険」または他の保険に加入すること。
- ⑥ 本大会の選手資格に疑義がある場合には、クラブ委員会において裁定する。(大会参加取り消しなど)

## 6. 競技方法

- ① 大会はトップクラブ、1部、2部、3部、エンジョイリーグの5部制とする。
- ② 勝ち点により各部の優勝、準優勝を決める。但しエンジョイリーグは除く。
- ③ 試合時間はトップクラブ、1部は40分ハーフ、2部は30分ハーフ、3部とエンジョイリーグは25分ハーフとする。グラウンド確保、天候等の状況により試合時間を調整する場合がある。  
また今大会は全ゲーム、ランニングタイムにて実施する。
- ④ 今大会では2部優勝は1部への自動昇格、3部優勝は2部への自動昇格とする。  
1部、2部最下位の降格は無い。
- ⑤ 3部内でチームの選手レンタルは1試合5名（3部チーム所属またはエンジョイリーグ所属）まで可能である。但し、レンタル制度を利用したチームはたとえ3部1位になっても昇格の権利は得られない。
- ⑥ エンジョイリーグ内でチームの選手レンタル数は制限無しとする。但しレンタル先はエンジョイリーグ所属チームとする。
- ⑦ プレーヤーの人数は23名以内とする。
- ⑧ 40分ハーフの場合シンビン10分、30分及び25分ハーフの場合シンビン7分とする。
- ⑨ 40分ハーフの場合ハーフタイム10分以内、30分及び25分ハーフの場合ハーフタイム5分以内とする。

## 7. 競技規則

平成30年度日本ラグビーフットボール協会制定の「競技規則」による。

## 8. 罰則

- ① 参加資格を偽った場合、選手資格のない者が出場した場合にはその時点で失格とし、本年度および次大会のすべての公式大会への出場を認めない。尚、不戦敗ないし棄権したチームも、原則として同様とするが、棄権に対して最終的な判断はクラブ委員会の審議の判断とする場合もある。
- ② 未登録の選手ないし他チームから登録された選手を偽って出場させた場合は、以後すべての公式大会から排除する。（選手及びチームが該当する）
- ③ 上記①および②いずれの場合も、事実発生時の相手方チームを勝者とし、それ以前のものには触れない。
- ④ その他、スポーツマンシップに反する行為のあった場合にも、前項に準ずる。
- ⑤ 参加チームは、その所属するチームの応援団の行為についても責任を負うものとする。
- ⑥ 大会参加申込を行ったチームは、以後の公式行事（組合せ抽選会、各種講習会など）に必ず出席しなければならない。
- ⑦ 本大会で生じた不規律に関しては、選手ないしチームに告知聴聞の機会を与えた上で、クラブ規律委員会において処分を決定する。（①から⑥、チーム登録抹消もありうる）
- ⑧ ジャージは選手全員が統一すること。（ジャージ、短パン、ソックス等の形式や色の統一）統一していない選手は出場禁止となる。
- ⑨ ジャージには背番号を表示する。1～15番は先発メンバーとし16～23番はリザーブメンバが着用する。
- ⑩ ジャージに血液が付着した場合はジャージを交換すること。そのため代替用のジャージを準備すること。
- ⑪ アンダーシャツを着用する場合には、ジャージと同系色か黒または紺色のものが望ましい。アンダーパンツ（スパッツ）でパンツより長いものを着用する場合は、パンツと同色または白色が望ましい。タイツタイプのアンダーパンツは着用できない。
- ⑫ 対戦チームと同色系のジャージになることに備えセカンドジャージを準備すること。

## 9. 試合会場準備

試合当日、対戦両チームでグラウンド準備、後片付けを行うこと。(第一試合目及び最終試合チーム)

試合会場により、準備方法や後片付け方法に注意すること。(グラウンド責任者に確認)

尚、ゴミは全て、各チームで持ち帰ること。

## 競技に関する諸注意事項

### 1. 勝敗および順位の決定

#### 1-1. 各リーグ戦

- (1) 順位決定に当り、勝ち点制を採用する。全試合終了時点で勝ち点の多い順に順位決定を行う。  
棄権・不戦敗は自動的に最下位とする。(尚、基本的に棄権・不戦敗は自動的に次大会出場停止であり、次々大会から最下位リーグより出場となるが、最終的な判断はクラブ委員会の審議の判断とする場合もある。
- (2) 各試合の勝ち点は、以下のとおりとする。  
① 勝ち：4点 ②不戦勝ち5点 ③引き分け：2点 ④負け(不戦敗を含む)：0点
- (3) ボーナス点として、以下の勝ち点を与える。
  - ① 負けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加
  - ② 勝敗に関係なく相手より3トライ差以上獲得したチームに勝ち点1を追加
- (4) 不戦勝ちチームには得点28点(4T4G)を与える。
- (5) 全試合終了時点で勝ち点と同じ場合、以下の各号の順序により順位を決定する。
  - ① リーグ戦全試合の得失点差の多いチームを上位とする。
  - ② 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。
  - ③ 当該チーム同士の得失点差の多いチームから上位とする。
  - ④ リーグ戦全試合の総トライ数が多いチームを上位とする。
  - ⑤ リーグ戦全試合のトライ後のゴール数が多いチームを上位とする。
  - ⑥ 当該チーム同士で抽選を実施する。但し、③、④、⑤について、不戦勝ちチームは不戦勝ちの試合を除いた得失点・トライ数およびトライ後のゴール数を換算してクラブ委員会で順位を決定する。
- (6) この大会においてトップクラブリーグ優勝、準優勝チーム及び1部優勝チームは東日本クラブ大会出場権を得ることができる。但し、最終承認はクラブ委員会とする。

### 3. 選手登録の方法

- ① この大会に試合出場する選手は試合前日までに登録と納金を日本協会へ完了すること。  
大会に参加する選手は登録済であること。
- ② 大会期間中、選手登録の追加(新規登録)をする場合には日本協会へ競技者個人登録を完了後、登録用紙を新たに作成し提出しなければならない。特別な事由がない限り1選手1年度1チーム登録とする。
- ③ 試合ごとの選手登録は23名以内とする。但し、フィールドの1チーム15名の選手登録は必須とする。選手が15名揃わない場合は試合不成立とする。チームは試合当日から3日前までに、当日の大会本部(競技運営担当)にメンバー表をメールにて提出しなければならない。メンバーの変更等は、試合当日の30分前までに大会競技委員に提出しなければならない。この場合、試合ごとの登録選手は、①の登録を完了した者の中から選出しなければならない。メンバー表の事前提出を怠りまたは遅延した場合には、大会本部から厳重注意が通告される。これにもかかわらず再度の違反を繰り返したチームは、今大会および次回以降の処分につき大会規律委員会において協議することとする。

#### 4. 試合運営スタッフ

参加各チームは、試合ごとに以下の運営スタッフを選出しなければならない。

- ① 交替指示者 1名
- ② セフティー・アシスタント（必須、以下 SA と略す） 1名（有資格者）
- ③ タッチジャッジ（必須） 1名
- ④ ボール係 3名以内
- ⑤ 水係 3名以内
- ⑥ 記録係（必須） 1名

注 1) 上記スタッフ（必須）は、選手との兼任はできない。

注 2) スタッフの兼任はできない（ただし、④⑤の兼任は可）。

注 3) スタッフは、レンタル等の手段によりチーム関係者以外の者を選出することができる。

#### 5. 選手の交替、入替え（競技規則第 3 条等参照）

- ① 選手の交替、入替えは、「競技規則第 3 条」の定めるところによる。（以下、概略）
- ② 選手の交替、入替え時は申請書を第 3 アシスタントレフリー（競技委員）に提出すること。
- ③ チームが 19～22 名の選手を指名する場合には、少なくとも 5 名はフロントローとしてプレーできる者でなくてはならない。選手入れ替えはフロントロー 2 名までその他のプレイヤーは 5 名まで。
- ④ チームが 23 名の選手を指名する場合には、少なくとも 6 名はフロントローとしてプレーできる者でなくてはならない。選手入れ替えはフロントロー 3 名までその他のプレイヤーは 5 名まで。
- ⑤ 試合中、フロントローとして適切に訓練を受けた選手がいなくなった場合には、安全対策の見地からノンコンテスト・スクラムにより試合を続行する。この場合、その原因を作った側のチームは、勝敗にかかわらずなく上位進出権はないものとする。
- ⑥ 選手の交替（医師または医務心得者からプレー続行不可と勧告のあった場合）は 8 名までとする。
- ⑦ 入れ替わったプレイヤーは、たとえ負傷したプレイヤーの交替としても、その試合に再び加わることはできない。ただし、以下の例外を除く。  
(例外 1) 傷口が開いたり、出血しているプレイヤーとの交替は認める。  
(例外 2) フロントローが負傷、一時的退出または退場となった場合、交替してもよい。
- ⑧ 出血のための一時的交替は 15 分以内とし、それを越えた場合には正式交替として取り扱う。
- ⑨ 交替、入替および出血の手当てをする間の一時的交替は、必ずチームの交替指示者から第三タッチジャッジ（競技委員）に告げ、ボールがデッドになった時にレフリーの許可を得て入退出すること。交替指示者以外の者が交替を申し出ても受け付けない。
- ⑩ レフリーの許可なく入退出した場合には、「競技規則」の不行跡として罰せられる。
- ⑪ 試合中の負傷等で交代選手がいなく、フィールドに 1 チーム 15 名未満になった場合、競技委員と両チーム、レフリーとで話し合いを行い、続行又は中止の判断をする。勝敗はその時の得点とする。但し、シンビン適用で 15 名未満となった場合、試合は続行する。

## 6. シンビン、退場（競技規則第 10 条等参照）

- ① シンビン（一時的退出）となった選手は、ハーフウェイライン付近の所定の場所に位置しなければならない。その間、チームコーチやメンバー等と接触してはならない。
- ② シンビンの時間はハーフタイムの時間は含まれない。同一シーズンの公式試合において累積 3 回目のシンビンが適用された選手は、そのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。また、次の 1 試合（公式試合）は出場停止となる。
- ③ フロントローの選手がシンビンとなった場合、レフリーは残り 14 名の選手の中にスクラムが安全に組めるように訓練を受けた選手がいるかどうかを判断するため、当該チームのキャプテンと協議する。誰もいない場合には 14 名の中から 1 名を退場させ、リザーブのフロントロー選手 1 名を一時的交替で入れることができる。この一時的交替はシンビン後すぐでも他の選手がフロントローとしてプレーしてみた後でも、いずれでもよい。
- ④ 入替で退出した選手であっても、フロントローとしてスクラムが組める選手が他にいなくなった場合には、ゲームに再出場することができる。
- ⑤ シンビンで一時的退出していた選手が戻ってきた時点で、一時的交替のフロントロー選手とその交替した選手は、元に戻る（この一時的交替は入替えとしない。）
- ⑥ 累積シンビン退場以外の事由（不行跡等）で退場となった選手は、「退場を命じられたプレーヤーの措置」に基づいて、大会規律委員会で厳重な処分を決する。1 試合に 2 回のシンビンはレッドカード扱いとする。
- ⑦ レッドカードによる退場の場合、次試合に出場はできない。次試合が今大会中に発生しない場合は次大会公式戦の初戦を出場停止とする。
- ⑧ レッドカードが発生した場合、内容を問わずクラブ委員長はレフリー、当該選手などの関係者を招集して規律委員会を開催する。
- ⑨ 当該ケースの検証の結果、危険性の高い、または意図的な不行跡が認められる行為については協議により加重処分を与える可能性もある。たとえば、大会期間中において複数試合もしくは全試合もしくは次大会試合に及ぶ場合もあり、また登録抹消等の処分もある。なお、本大会中にレッドカード 2 回目は本大会期間中の試合出場を厳禁する。
- ⑩ 規律委員会終了後、クラブ委員会は報告書を作成し、当該選手のチーム代表者に提出する。

## 7. スクラムノーコンテスト

15 人の選手が揃い試合前のブリーフィング時に訓練されたフロントローがいない場合、競技委員、レフリー、両チームキャプテンとの協議の上、スクラムノーコンテストにすることができる。

## 8. 試合前日まで確認遵守事項

- ① クラブ委員会担当者は、当該試合の現場責任者（大会競技委員）を任命し、試合予定日の 1 週間前までに当該両チームの代表者に大会競技委員の氏名および緊急連絡先を伝達する。
- ② 試合前の最終確認は、試合当日から 3 日前までに、当番チームから相手チーム・レフリー・競技委員等に連絡する。連絡がない場合は無効試合とする。（日時、試合開始時間、球技場、ユニホーム色等）
- ③ 天候その他の理由により試合中止または延期等の可能性が生じた場合には、大会競技委員は速やかに当該両チームの代表者にその旨を告げ、以後の連絡を密にする。
- ④ チーム側の事情により試合の開催に支障（棄権）があると判断した場合には、当該チームの代表者は速やかに大会競技委員と相手チーム、レフリーにその旨を告げる。尚、チームに対する処分については、クラブ規律委員会等によって決する。（次回の大会出場を認めない等）

## 9. 60 分前受付

- ① 試合当日、チーム代表者はキックオフ 60 分前までに大会本部でチーム受付および必要な手続を済ませること。
- ② チーム代表者は 60 分前受付の後プレマッチ・ミーティングまでの間に当該試合のメンバー表を大会本部に提出しなければならない。(選手個人登録カードの提示もありうる)

## 10. プレマッチ・ミーティング

- ① キックオフの 30 分前までにプレマッチ・ミーティングを行わなければならない。ミーティングの開催時刻は、大会競技委員とレフリーの協議によって決定され、大会競技委員より両チームに伝達される。
- ② プレマッチ・ミーティングの時点で試合会場に到着していない選手およびスタッフは、当該試合に出場することができない。
- ③ チーム代表者は、プレマッチ・ミーティングに際して、選手全員（リザーブを含む）と以下の人員を所定の場所に集合させること。

- ・キャプテン
- ・交替指示者
- ・SA
- ・記録係
- ・水係（3 名以内）
- ・ボール係（3 名以内）
- ・チーム選出タッチジャッジ

以後、チーム選出タッチジャッジは試合終了までレフリーと行動を共にし、必要な指示を受けること。

- ④ 各チームは有資格者の SA を必ず帯同しなければならない。大会競技委員は、プレマッチ・ミーティングの際に SA の認定証を確認する。
- ⑤ 水係はトライの後等の他、試合中断時その他レフリーの許可があったときを除いて、フィールド・オブ・プレーに入ることはできない。
- ⑥ SA および水係は原則として、大会本部から貸与する所定のビブスを着用すること。尚、声を出した応援は禁止する。これらの不行跡は、退場の対象となる。
- ⑦ 各チーム記録係は 2 名で協力し記録席で公式試合記録用紙を記入する。
- ⑧ 試合は原則としてスリーボール制で実施する。各チームのボール係は自チームの左側に配置すること。
- ⑨ 試合球（3 個）は、ホームチームの責任で準備する。試合球は、プレマッチ・ミーティングの時点で大会本部にて内圧チェックを行い、以後キックオフまで大会本部に保管する。
- ⑩ ブリーフィング時に選手が 15 名揃わないチームは、不戦敗とする。

## 11. ドレス・チェックおよびメンバーの確認

- ① ブリーフィングにおいてドレス・チェックおよびメンバーの確認を行う。
- ② ドレス・チェックおよびメンバーの確認は、競技委員の責任において行われる。レフリー、競技委員によって服装、スタッドの状態、爪の検査、IRB マークの確認等および事前に提出されたメンバー表に基づく本人確認が行われる。本人確認はポジションと呼ばれたら氏名を名乗る（個人登録カードや個人登録申請書で確認する場合もある）
- ③ ドレス・チェックで不許可となったものを競技区域で着用していた場合には、その時点で「競技規則」第 4 条 5(c)により退場となる。但し、直ちに不着用とすれば出場できる。

## 12. 競技時、ハーフタイム時の諸注意

- ① テクニカルゾーン設置可能なスペースがあるグラウンドではテクニカルゾーンを設置する。  
ゲーム中はリザーブ選手、スタッフはテクニカルゾーンに待機することとする。但し SA は適時エリア外に出ることは構わない。
- ② リザーブ選手は、上着等を着用するなど、競技中の選手と見分けがつく服装をすること。
- ③ ハーフタイム時の選手（リザーブ選手を含む）の休息地点は、5メートル・ラインより内側である。

## 13. アフターマッチ・ファンクション

- ① ノーサイドの後、必ずアフターマッチ・ファンクションを行う。両チームのキャプテンは、競技委員の指示に従い、所定の場所に全選手を誘導する。
- ② アフターマッチ・ファンクションの進行は、競技委員が行う。両チームキャプテンの挨拶、レフリーの講評の後、エールの交換（または握手等）をもって終了する。
- ③ チームは対戦チームからマンオブザマッチを選出すること。

## 14. 試合後の諸手続

- ① 試合後、記録係はレフリー及び競技委員と記録内容の照合を行う。レフリーは公式記録の確認を行う。
- ② 大会競技委員は、公式記録を受取り保管のうえ、クラブ委員長に報告する。報告内容は、前後半のトライ、ゴール数、得点、勝ち負けチーム名とする。
- ③ 大会競技委員は、試合終了後速やかに、大会事務局に試合結果を報告する。

## 15. 安全対策、脳しんとうの報告義務、その他

- ① 大会参加に当っては、あらかじめ健康診断を受診する等、プレーヤーの健康管理に充分配慮すること。特に、過去に頭部外傷や脳しんとうを起こしたことがある者は、必ず脳波検査、CT等の検査を受診させること。
- ② グラウンドで明らかな頭部打撲を認め、その受傷時に応答（意識状態）の異常、身体活動の異常が認められる者は、すべて競技規則にいう「脳しんとう」に該当するものとして退場させる。試合中に脳しんとうで退場したプレーヤーが出た場合には、チーム責任者は所定の用紙によって報告の義務がある。
- ③ 「脳しんとうの疑い」の所見をレフリーあるいはプレーヤー、チームスタッフ等が発見した場合、そのアピールによりレフリーが試合を止め、疑いのある選手に対し確認を実施する。
- ④ 確認は原則的に SA（有資格者）が行なう。
- ⑤ 脳しんとう、及び脳しんとう疑いの最終判断（退場）は所属チームの代表者が行う。
- ⑥ 脳しんとうによって退場した選手は、以後 3 週間は医師の診断書で認められた場合を除き、試合および練習には参加できない。
- ⑦ 脳しんとう及び救急車通報等の負傷者発生事故は必ず競技委員がクラブ委員長へ 24 時間以内に報告する。  
(チーム名と氏名)
- ⑧ 試合中に発生した負傷等の医療費は、各チームの負担とする。

## 16. 顕 彰

- ① トップクラブ、1 部、2 部、3 部の優勝、準優勝のチームを表彰する。

## 17. 費 用

- ① 大会参加料 20,000 円（有料試合チケット含む）を代表者会議当日徴収する。
- ② 保土ヶ谷ラグビー場使用料 1 試合 4,000 円を試合当日 3 日前までに所定の口座に振込むこと。尚、棄権したチームは 2 チーム分 8,000 円を振込むこと。
- ③ クラブ委員会振込先口座  
銀行：三井住友銀行 宮崎台支店 口座番号：普通 7339039 名義：クラブ委員会 会計 平沢哲也
- ④ 大会競技運営費は試合毎に当日、競技委員に支払うこと。  
(1 チーム 1 試合 3,500 円を支払い、レフリー 5,000 円と競技委員 2,000 円の交通費とする)

⑤ 既納の参加料及び諸費用は、いかなる理由においても返還はしない

**附則（平成 26 年 12 月 15 日から発効）**

**トップクラブリーグ（以下 TCL とする）加盟に関する規定**

文書の提出

新規に TCL に加盟する場合、関東協会の承認の有無にかかわらず、加盟の意思表示をし、文書で神奈川県クラブ選手権大会（春季大会）代表者会議までに神奈川県クラブ委員長あてに TCL 加盟届けを提出すること。